

下中生7人「音楽大使」

諏訪ユネスコ協会が任命

諏訪ユネスコ協会（平出信次会長）は今年度、下諏訪中学校の生徒7人を「音楽大使」に任命した。大使は、諏訪地域の高齢者施設などで演奏を披露してお年寄りを楽しませる活動を行うもの。15日には2人の大使らが同町高木のグレイスフル下諏訪を訪問してミニ演奏会を開き、素敵な音色を届けた。

世代間交流を目的とした取り組み。子どもたちが音楽を軸とした大使となり、地域の高齢者施設などの利用者に音楽を届けることで高齢者との交流を深め、生き方を学ぶ機会とするもの。昨年は茅野市内の中学生を大使に任命している。

グレイスフル下諏訪には、吹奏楽部を引退したばかりの同校3年の松倉美乃さんと勝

家優衣さん、吹奏楽部顧問の教諭らが訪問。デイサービスやケアハウスの利用者ら約30人を前に、「愛の挨拶」「君をのせて」「美女と野獣」の3曲をサククスで奏で、最後に「上を向いて歩こう」を利用者と一緒に歌い、心を通わせた。



施設利用者を前に演奏する音楽大使の下諏訪中生

松倉さんは「3年間続けた部活を引退して人前で吹く機会がなかったので、多くの人の前で吹けてうれしい」、勝家さんは「聞いている人を楽しませるだけでなく自分も楽しく演奏し、聞いてよかったと思うてもらえる音を届けた」と話していた。（浜武司）